

つくほ治療院新聞

通巻76号



「鍼灸師の資格」

今年も2月下旬に例年同様、はり師きゅう師の国家試験がありました。そして、3月27日には厚生労働省より合格者の発表があり、今年もまた新しい鍼灸師が誕生し、皆様の健康の一助となるべく世の中に旅立って行きます。

しかし、弁護士・歯科医師・会計士・美容師等々と同様に、合格者の数は年々増加し、資格を持つているだけでは、御飯が食べられる時代では無くなってきてしまいました。鍼灸師の合格者も23年前には、2000人程度だったものが、前年には約2倍にまで増加しました。

本来、鍼灸とは、東洋医学を根幹とし、脈診・腹診などの東洋医学的診断技術を用い、全身の気の流れを整え、症状だけではなく身体全体を治療する全人的医療なのですが、鍼灸学校は、厚生労働省の元で認可されているので、どうしても西洋医学中心になってしまい、整体やマッサージと同様に腰痛・肩凝り等の痛み止め治療が主になり、痛い熱いの

イメージの鍼灸治療は後塵を拝してしまいます。

一昔前は、鍼灸師に限らず資格というライセンスがある事になんとかなったのかもしれないが、現在は常に知識や技術が積み重ねていかなければならない時代となっています。私が所属している『東洋はり医学会』の会員も、治療室が休みの日曜に全国から集まり互いに技術研鑽に励んで精進しています。

資格を持つという事はゴールではなく、その世界を歩んでいくスタートラインに立ったにすぎません。今年度もまた同会に入会してくる彼らの夢や希望のパワーと共に、自分も進んでいきたいと思えます。

整いました!! 「資格」とかけまして、「足裏のご飯粒」と解きます。その心は?裏面の執筆余話で。



二十四節気と七十二候

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはだいたい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

穀雨

(四月二十日)

地上の穀物に実りをもたらす雨が降り注ぐ、という意味です。必ずしもこの時期に雨が多いということはありませんが、しつとりとした春の雨がやや長引けば、菜種梅雨などと呼ばれることもありま

4月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

ゴールデンウィーク中は、暦通り日曜・祝日がお休みとなります。

季節のたのしみ 藤の名木

桜が散ってしばらくすると藤の季節。房状に垂れ下がる紫の花は、周囲の新緑に映えて鮮やかな初夏の風景を演出します。樹齢百年の名木も各地にあり、この時期、満開の花で人々の心を惹きつけます。有名な名所に、岩手の藤島の藤、埼玉県春日部の牛島の藤、静岡の熊野の長藤、奈良の春日大社砂ずりの藤、などがあります。



(「くらしのこよみ」より)



《そうだったのか東洋医学!!》

鍼灸師の資格

皆さんは「鍼灸師」を何と読みますか? 「はりきゅうし」又は「しんきゅうし」が考えられると思いますが、どちらも正解ではあるものの、「鍼灸師」という資格はありません。

私たち鍼灸師というのは『あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律』に基づき、国家試験に合格し、厚生労働省より免許を与えられた者を示します。前述の法律の名称の通り、「あん摩とマッサージと指圧」は一つの資格なのですが、「はり師」と「きゅう師」はそれぞれ別の資格ですので、それぞれの試験をパスする必要があります。しかし、国家試験の問題は、解剖学、生理学、病理学、東洋医学概論などの科目140問は共通しているのと同じ問題を解いて、その他に「はり理論」10問、「きゅう理論」10問を解答します。ですから合わせて「はり師」になるために150問、「きゅう師」になるため

患者さんの声

6月に逆子の治療でお世話になりました。無事に正常分娩で6月14日3430gの男の子を出産しました。37週で、この大きめで、よく逆子が回ったね...と言われました。その後毎度産後に悩まされていた腰痛や感情の揺れが今回は驚くほど少ないのです。もしかして気が整ったせい?と体調の良さに感謝しています。ありがとうございました! またいづれ治療をお願いしたいと思っています。

つくば市 30代 女性

に150問を解答する事になります。問題が重複しているで、多くの人は同時に資格を取得出来るのですが、中には「はり理論」0点、「きゅう理論」10点という場合もあり、その結果「きゅう師」は合格したけど、「はり師」は不合格という人も出てきます。おそらくそういう人は、翌年もう一度「はり師」の資格を取得するために150問の勉強をして受験するでしょうけど、逆の人は「はり師」の資格だけで構わないと「きゅう師」は持っていない人もいるかもしれません。実際、私の登録番号も「はり師」126587、「きゅう師」12674と13人分違います。



『他人の意見は成長のチャンス』

悪口を言ったり、他人を非難したりすることは慎まなければなりません。しかし、一方では、自分に向けられた非難や悪口に対しては、謙虚に受け止め、自分の人格を向上させるきっかけとすることが大切なのではないでしょうか。

そんな時、ただ相手を責めても、お互いの中に憎しみの心が育つだけ。それよりも、誤解を受け、非難されるのは、まだまだ日頃の自分には、人が見てそう思うようなところがあるのだと深く反省してみる事です。

嵐が大木を鍛えるように、他人から批判されても、それにへこたれずに、かえってそれを成長の糧として努力を続けてこそ、大地に根を張った底光りする人間が出来ていくのです。

「一日一話」より

旬のやさしい

筍

タケ類の地下茎から出る幼茎のことを示します。先端が地表に現れる頃に掘り出して食べます。十八世紀頃に渡来した孟宗竹の栽植が進むまでは、日本で筍といえば、真竹と淡竹でした。とにかく掘り立てを食すのがよく、時間が経つにつれて味も落ち、堅くなります。灰とともに茹でてあく抜きしてから調理する場合があります。ワカメと炊き合わせる若竹煮のほか、木の芽味噌で和える木の芽和えなどが春の美味です。



執筆余話

私のような仕事をしていると年度の変わりというのを感じにくいのですが、子供が小学校3年生に、幼稚園の年中に、保育園の2歳児と一つずつ進級していく姿に、年度の節目を感じます。私もこの業界に転職して17年、鍼灸師となつて11年の歳月が過ぎました。店が休みの日に、東京まで勉強に行くことを努力とは思っていませんが、今自分が望んだ仕事を続けていられる事は簡単ではなかったかとも思います。改めてこの11年の経験をさせてくれたはり師きゅう師の資格に感謝したいと思います。あっ!!表面のその心は「取っても食べられません」でした。お後が宜しいようで...

